



足立

区議会だより

発行/足立区議会

<https://www.gikai-adachi.jp> No. 331

第331回
定例会



音楽の街 足立区
(ギャラクシティにて 令和7年8月上旬撮影)
足立区議会写真部 長谷川 たかこ 撮影

区長提出議案

令和6年度足立区一般会計歳入歳出決算等

4会計決算を認定

ほか

議員提出議案を可決

建設アスベスト被害者の全面救済を求める意見書

ほか

令和7年第3回 定例会のあらまし

第3回定例会は、9月16日から10月20日までの35日間で開催しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員、無会派の議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

それぞれ認定しました。その他の区長提出議案について、18件を原案のとおり可決し、諮問1件を異議ないものと答申したほか、1件の報告を承認しました。

また、議員提出議案2件を全会一致で可決し、請願・陳情については、5件を採択、30件を継続審査とした

決算等、4会計決算を決算特別委員会で審査し、それほか、1件を不採択とし、1件の撤回を承認しました。

主な内容

- 2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)
- 5面 ● 議決結果 (区長提出議案)
- 6面 ● 議決結果 (議員提出議案)
- みなさんからの請願・陳情
- 委員会活動
- 議員研修会を行いました
- 意見の分かれた議案
- 7面 ● 決算特別委員会の討論 (要旨)
- 8面 ● 令和6年度各会計決算
- 決算特別委員会での審査と本会議での議決
- 決算特別委員会の審査結果
- 決算特別委員会とは？

議員(候補者等を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています

議員(候補者等を含む)が選挙区内にある者に対し、お歳暮・お年賀等の贈り物をするとは、公職選挙法により禁止されています。

また、受け取った人も罰せられます。

年賀状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

問う

令和7年9月16日、
17日、19日に開会した
本会議で代表・一般質問
を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、区政全般について、各会派を代表して6名の議員が代表質問を、各会派及び無会派の7名の議員が一般質問を行いました。

以下、その要旨を掲載します。

なお、2次元バーコードから各質問者の録画映像をご覧になれます。

足立区議会自由民主党

地域の伝統を大切に守り、 住み続けられる足立区に

自由民主党 伊藤 のぶゆき 議員



伝統文化を未来へつなぐために

【問】全世代の地域住民が楽しむことができる盆踊り大会について、近年は人手不足により、やぐらの組み立てを工務店に依頼する等の要因で赤字となる町会・自治会があると聞いている。地域の伝統と担い手を守るためにも、盆踊り大会に要する費用を助成すべきと思うがどうか。



【地域】盆踊り大会は、地域交流や住民相互の親睦を深める貴重な場であると認識している。そのため、来年度から盆踊りに係るやぐらや音響設備の設置費用を助成したいと考えている。

魅力あふれる北綾瀬を目指して

【問】北綾瀬駅前完成したペDESTリアンデッキは、将来にわたり駅前のシンボリック役割を果たすものである。これを契機に、しょうぶ沼公園等も含めたまちのにぎわいや回遊性の向上に取り組む必要があると考えるがどうか。

【都市建設】しょうぶ沼公園の活用は重要であると考えている。短期的には、本年12月頃に公園活用の検討に向けたイベントを試行する予定である。中・長期的には、商店街や東京メトロ等の民間事業者との連携による公共空間の活用を検討していく。

【都市建設】しょうぶ沼公園の活用は重要であると考えている。短期的には、本年12月頃に公園活用の検討に向けたイベントを試行する予定である。中・長期的には、商店街や東京メトロ等の民間事業者との連携による公共空間の活用を検討していく。

災害時の良好な衛生環境のために

【問】災害時におけるトイレの確保は喫緊の課題である。区民による携帯トイレの備えが一層進むよう、都に購入費助成制度を求めるべきではないか。

また、都に先んじて区独自の助成を検討すべきではないか。

【危機管理】都に対して購入費助成制度を要望していく。

また、策定を進めている災害時のトイレ確保に向けた計画を基に、区民の備蓄行動に与える影響や費用対効果等、多角的な視点から今年度を目途に区独自の助成制度の検討を進めていく。

穏やかな旅立ちとなる火葬を

【問】多くの区民が利用する民間の火葬場が、来年度から区民葬儀の取り扱いを中止すると公表した。これを受け、特別区長会は利用者負担の軽減等を理由に助成制度の創設を発表したが、当該火葬場が更なる値上げ等に踏み切るのではないかと懸念される。火葬料金を規制できる制度を早急に国に要望すべきと思うがどうか。

【区民】火葬場経営が利益追求の手段となり、利用者が犠牲になることはあってはならないと考えている。特別区の区域における火葬場の在り方を特別区長会にて検討を継続すると共に、必要に応じて国に要望していく。

【区民】火葬場経営が利益追求の手段となり、利用者が犠牲になることはあってはならないと考えている。特別区の区域における火葬場の在り方を特別区長会にて検討を継続すると共に、必要に応じて国に要望していく。

採用支援拡充で区内経済活性化を

【問】区は、人材不足に悩む中小企業の支援のために、区内中小企業人材採用支援助成金を昨年度から開始したが、助成を受けた企業からは採用活動を年に複数回実施したい等の声がある。助成金がより効果的に活用されるよう、年度内の申請可能回数を増やすべきではないか。

【産業経済】来年度から一企業当たりの助成金上限額の枠内で複数回申請が可能となるよう、検討していく。

【問】先進的な取り組みを実施

出生率の向上策・ガンの早期発見方法と健診の充実を

自由民主党 白石 正輝 議員



日本人消滅の危機を乗り越えよ

【問】日本人の人口減少を食い止めるためには、子どもを産む大切さや喜びを教育していかねばならないと考えるが、教育委員会としての見解を伺う。

【教育指導】道徳科や家庭科等での横断的な学びを通して、人々のつながりや支え合いの中で一人ひとりの生命が育まれ存在することや、命が受け継がれていく尊さをより深く理解できるように指導している。

がんのリスク検査で区民を守れ

【問】がんは発見が遅くなると治療が難しくなり、生存率が極端に低くなる。以前に提案したメタロ・バランス検査について、他自治体での試験的導入事例を調査し、がんの早期発見に努力すべきと思うがどうか。

【問】がんは発見が遅くなると治療が難しくなり、生存率が極端に低くなる。以前に提案したメタロ・バランス検査について、他自治体での試験的導入事例を調査し、がんの早期発見に努力すべきと思うがどうか。

してきた足立区のごみ屋敷対策事業は、開始から12年が経過したが、解決に時間を要する案件も増加傾向にあると聞いている。ごみ屋敷対策継続の一方では、景観の悪化や悪臭等に我慢を続けている近隣住民もおり、改善に向けては費用負担の増額も含め、一歩踏み込んだ新たな対応策が必要と考えるがどうか。

【環境】速やかなごみの処分につながる新たなごみ屋敷対策が必要であると考えており、費用負担の増額も含めて検討し、来年度からの新たな対応策の実施を目指していく。

【問】先進的な取り組みを実施

区民が「もっと好きになれる足立区」をつくるために

自由民主党 長沢 興祐 議員



混雑緩和と実現で安定した生活を

【問】現在、朝のつくばエクスプレス青井駅・六町駅では、乗客が乗車を見送る光景が常態化している。混雑緩和策として車両の8両化に着手しているが、現状と今後の見通しを伺う。

【都市建設】都内の地下6駅のホーム延伸工事が完了し、令和6・7年度で北千住駅の工事が行われている。当初の予定である2030年代前半の8両化に向け進捗していると考えている。

日差し対策で居心地の良い公園へ

【問】熱中症のリスクが高まるなか、斜めから差し込む日差しによっても体感温度は上昇する。公園における暑熱対策を標準仕様として位置づけ、年度計画で実装していくべきではないか。

【道路公園】公園設計において、ベンチの向きや植栽の配置を工夫する必要がある。年度計画で実装していくべきではないか。

足立区議会公明党

だれもが安心して暮らせる足立区へ！新たな挑戦を！

公明党 小泉 ひろし 議員



特殊詐欺被害から区民を守れ！

【問】足立区内における特殊詐欺被害が拡大しており、今年の特許詐欺被害額は7月末時点で約6億円となっていることから、

指向性スピーカーを活用した機器を銀行ATMに設置し、詐欺行為を断念させる取り組みとその活用を提案した結果、採用された。採用に至った経緯や今後

トを実施する予定であり、その分析結果を踏まえて効果的な周知方法や受診しやすい環境整備に向けた検討を行っていく。

夫し、暑熱対策を行っていく。斜めからの日差し対策については、まずは日除け用を利用者が持ち込んだシート等を取り付けるためのリング等を支柱に設置し、対策の効果について2年程度検証を重ね、標準化や実装に向けた検討を進めていく。

【問】世界中で爆発的人気を博しているピクトルボールは区民のニーズも高く、老若男女が集うスポーツとなることは間違いない。今後は社会実験を通して需要を見極め、段階的に施設を整備すべきと思うがどうか。



【地域】他自治体の導入状況や区民ニーズを今年度中に調査し、利用者ニーズがあれば、既存施設の整備も検討していく。

が必要と考えるがどうか。

【高齢者】介護報酬改定で引き下げられた分との差額給付は考えていない。区としては、介護保険制度の抜本的改革により、サービスの実態に即した適切な介護報酬を設定するよう特別区長会や全国市長会を通じて国に強く要望すると共に、引き続き介護事業者の効率的な運営への支援や介護人材の確保・定着の支援策に取り組んでいく。

【問】豊島区の「ジャンプ東池袋」を参考に児童厚生職員が常駐する「好きなこと、やりたいこと」や「夢」を実現でき、意見を述べる場となるような場所を足立区でもつくってはどうか。

【未来】子どもの意思や意見が尊重され、やりたいことが実現できる場をつくることは必要であると考えている。「アダチ若者会議」を通じて中学生に直接意見を聴くと共に、他区の先進事例について情報収集していく。

区民が納得するまちづくりを

【問】旧こども家庭支援センター跡地の利用について、区民要望の強い図書館建設には背を向け、公有地を提供し民間マンション建設を進めることに区民の理解を得られると思うのか、伺う。

【資産活用】図書館をつくらないことは地元説明会等で説明し、一定の理解は得られている。民間マンションは民間事業者が事業採算上、公募で提案する可能性があるが、区民が求める「ホール」「にぎわい施設」「本も読める憩いの場」を整備予定であり、マンションの有無に関わらず理解が得られると考えている。

不登校対策には「忙しい学校」の解消が必要だ！

日本共産党 小林 ともよ 議員



子どもの心のSOSに向き合え

【問】不登校の子どもには心の傷への理解と休息や回復の保障が必要である。不登校支援ポイントサイトの冒頭では、登校刺激となり得る支援メニューを並べるのではなく、保護者や子どもを安心させる言葉が詰まった「登校支援ガイド」を表示すると共に、共通認識を持てるよう周知すべきと思うがどうか。



是々非々の会（維新・参政・無所属）

税金が夜空に散る 足立の

花火は都内最大の税金依存

是々非々の会 へんみ 圭 二 議員



真に誇れるイベントへ構造改革を

【問】2年連続で中止となった「足立の花火」は、財政構造と運営上の課題が顕在化している。今年度は打上発数1万4千発、総費用約3億6千万円のうち区負担は91%、協賛金や有料席収入はわずかで、中止時の保険金も支出の1.14%であった。他区と比べても、足立区は予算規模最大・区民負担最大・収益最小という異常な構造であり、財政設計に失敗している。安全面・財政面・運営面の全てをゼロベースで見直す覚悟が必要である。

①足立の花火が突出して税金に依存している原因と、有料席の拡大やふるさと納税の活用以外

的に実施しており、結果として税金に依存することとなった。

依存割合の低減や近年の費用増に対応するため、有料席の拡大を進めてきたが、それ以外の収入増の施策は実施していない。

②近隣自治体や保険代理店へのヒアリングでは明確な理由は判明しておらず、今後更に範囲を拡大して確認していく。

また、来年度の実施に向け、費用損害型保険の加入を費用対効果を踏まえ、検討する。

③他花火大会等の先行事例の調査や近隣自治体へのヒアリング等を行い、収入増や経費削減策を区で導入した場合の費用対効果を検討する。その結果、協賛・有料席・寄附制度等を拡充する際は、数値目標や期限を観光交流協会の評議員会に提案する。

都民ファースト・無所属の会

千住地域から広がる

子育てしやすい街づくり

都ファ・無所属 中島こういちろう議員



千住大川端地区のまちづくり

【問】千寿第八小学校では、千住大川端地区の開発に伴う教室不足を補うため、保育施設を転用する計画もあるが、保護者への丁寧な説明が必須である。今後も、地域住民の理解を得るための取り組みを更に強化すべきと考えるがどうか。

【千住地区】シミュレーションでは、教室不足が予測されるのは令和22年度からであるため、今後も定期的に需要予測を見直し、断し行動していく主権者を育成していくために、全ての区内中学校・高校で若者団体や区選挙管理委員会等による出前授業を、年間計画を立てて毎年着実に実施するよう要望するがどうか。

足立区議会議会改革を全力で推し進める会

全ての人が安心して暮らせる、みんなにやさしい街へ

議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



がん患者の豊かな人生のために

【問】区内外で活動しているがん体験者を区に紹介した結果、本年10月に「働くがん患者」の講演会が開催されることになった。今後は医療機関や企業、各種団体と連携し、がん患者・体験者及びその家族が語り合える場を設け、新たな支援施策の早期構築を強く要望するがどうか。



【選挙管理】

今年度、出前授業や模擬投票等の開催が予定されていない中学校・高校については、今年度、もしくは来年度の開催に向けて働きかけを行い、毎年着実に実施するよう年間計画を立て取り組んでいく。

ないか。

【未来】「アダチ若者会議」にてニーズを聴き、関係部署との調整を図りながら、年度末を目途に若者が主体的に取り組める場づくりについて検討していく。

児童保育の連絡帳をデジタルへ

【問】児童保育室にデジタル連絡ツール等を導入することで、保護者との連絡や緊急対応の円滑化が可能となるため、児童保育室でのICT活用を更に促進すべきと考えるがどうか。

【子ども】来年度より、区立学童保育室へ入退室管理等を行うシステムを導入する予定である。また、ICT未活用の民設学童保育室に対し、児童保育室では業務支援システム等の活用を促していく。



【衛生】現在、乳がん体験者を中心に「がん治療と仕事の両立」をテーマとした新たなピアサポートグループの創設を進めている。

場を訪れて条例の趣旨や労働報酬下限額等の制度を労働者に周知徹底すると共に、周知カード等の見直しにより、わかりやすく伝わるよう取り組んでいく。



【問】医療的ケア児の保護者が安心して子育てと仕事を両立できるように支援していくことが重

要である。医療的ケア児の学童保育室での受け入れ体制を構築するために、先進自治体への視察を強く要望するがどうか。

【教育長】まずは導入自治体の視察から開始し、実施の可否を検討していく。検討にあたっては医療的ケア児の保護者の意向確認は必須と考えており、支援を受けている全ての保護者にヒアリングを行っていく。

無

会

派

在宅避難支援の強化とフルインクルーシブ教育推進！



無 会 派 市 川 おさと 議員

災害から区民の生命を守るために

【問】首都直下地震等の大規模災害が発生した場合、避難所の収容能力不足が明らかであり、在宅避難の重要性が高まっている。区としてマニュアルを作成し、家庭や職場等で在宅避難訓練を実施してもらってはどうか。

また、在宅避難訓練の実施により、その課題を区民と共有することができ、区の施策の方向性とも一致するのではないか。

【危機管理】在宅避難までの行動手順や必要な備品等を記載した「あだち防災マップ&ガイド」を活用した在宅避難訓練について、毎月19日の「あだち備蓄の日」に区公式SNSを通じて呼びかけていく。

また、各家庭や職場での訓練の実施は、在宅避難に必要な備蓄品や転倒防止金具の取り付け場所を見直すきっかけとなり、区が目指す災害時に即した備え

につなげるものと考えている。

【問】障害の有無にかかわらず共に学ぶ経験は、地域全体の理解を深め、将来の共生社会の基礎となる。区では、支援が必要な児童・生徒に対し、一般の学校・通常学級に通うためにスクールアシスタント等による人的支援を行っている。

しかし、小学校入学予定者に配付している「就学相談のご案内」では、特別支援教育の紹介をしている。インクルーシブ教育の体制が整っているのであれば、通常学級の選択肢についても明示すべきではないか。

【教育指導】現在、就学相談では一般の学級という選択肢についても説明しているため、「就学相談のご案内」について同様に見直していく。

第3回定例会での

議決結果

区長提出議案

可決したもの

決 算

◇令和6年度足立区一般会計歳入歳出決算

◇令和6年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算

◇令和6年度足立区介護保険特別会計歳入歳出決算

◇令和6年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

補正予算

◇令和7年度足立区一般会計補正予算（第6号）

補正額 14億2千878万4千円
予算総額 3千525億

◇令和7年度足立区介護保険特別会計補正予算（第1号）

補正額 11億7千328万3千円
予算総額 728億6千962万7千円
（以上2議案について、日本共産党足立区議団より反対討論あり）

条 例

◇足立区職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

妊娠、出産等についての申出をした職員に対する意向確認等に係る措置を新設するほか、規定を整備するもの

◇足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区災害対策条例の一部を改正する条例

近年の激甚化かつ複合化する災害に即応するために、規定を整備するもの

◇足立区公衆浴場法施行条例の一部を改正する条例

公衆浴場における水質基準等に関する指針の改正に伴い、規定を整備するもの

◇足立区千住大川端地区再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

地区計画の変更に伴い、規定を整備するもの
（日本共産党足立区議団より反対討論あり）

◇足立区に係る防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

地区計画の決定に伴い、規定を整備するもの

◇足立区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

乳児等通園支援事業の新規開始に伴い、規定を整備するもの
（日本共産党足立区議団より反対討論あり）

◇足立区立学童保育室条例の一部を改正する条例

保木間学童保育室及び鹿浜五色桜学童保育室を設置するもの

◇足立区長等の給料の特例に関する条例

区長及び第二副区長の給料月額を減額するもの

その他の議案

◇平野小学校校庭改修その他工事請負契約

契約方法 条件付一般競争入札
契約金額 2億3千628万円
相手方 太和工業株式会社

所在地	幅員(m)	延長(m)	面積(m ²)
島根三丁目地内	4.00～4.53	50.98	209.07
神明三丁目地内	5.00	94.46	484.93 (編入)
東六月町地内	6.00	9.43	58.87 (編入)

■特別区道路線の認定について

◇理科教育設備物品の購入について

契約方法 指名競争入札
契約金額 4千630万1千640円
相手方 有限会社あづま商店

◇委託料精算金請求事件に関する和解について

「足立区立新田三丁目なかよし保育園の管理運営に関する年度協定書」に基づき概算払いで支払った令和2年度の管理運営委託料の精算額の支払義務があることを認めること等について、和解するもの

◇防災センター等機器賃借（映像系）について

契約方法 指名競争入札
契約金額 2億1千991万2千円
相手方 みずほ東芝リース株式会社

報 告

◇和解について

区は、令和7年度に実施予定のバス車内放送に関する委託契約を同年度開始までに締結予定であったがこれを失念し、令和7年4月1日から同年6月30日までの間、契約手続きが未了となっていた。

本契約の締結未了期間に、当該事業者により実施されたバス車内放送に対する費用の支払いを行うことについて、和解するもの

◇損害賠償額の決定について
令和6年度に締結した契約に基づく代金の支払を遅延し、遅延利息相当額の損害を与えたことに対する損害賠償額を決定するもの
ほか1件

◇放棄した債権の報告について

診療報酬の不正利得加算金
ほか324件

◇令和6年度決算に基づく足立区の健全化判断比率の報告について

実質赤字比率 ー％
連結実質赤字比率 ー％
実質公債費比率 △2.7％
将来負担比率 ー％
※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合「ー」で表示

◇令和6年度足立区内部統制評価の報告について

監査委員の審査に付した内部統制の評価を報告する書類について、監査委員の意見を付して提出するもの

◇調停の成立について

申立人より申立てがあった民事調停事件について、調停条項を締結し、調停に合意するもの

◇議決を得た契約の変更について

北綾瀬駅前交通広場及びペDESTリアンデッキ整備工事請負契約
ほか2件

◇和解について

区職員の運転する自動車から車線変更を行った際、後方から直進してきた相手方が運転する自動車と衝突した車両事故について、和解するもの



本会議の様子

委員会活動

委員会名	日程	主な内容（件数）				
		審査			報告	その他
		議案	請願	陳情		
総務委員会	8月19日(火)		1	1	10	
	9月22日(月)	7	1	1	7	
	10月20日(月)	2				
区民委員会	8月19日(火)		1	2	10	
	9月24日(水)			3	12	
産業環境委員会	8月20日(水)			3	16	
	10月9日(木)			5	8	
厚生委員会	8月20日(水)		2	5	8	
	10月9日(木)	1	2	3	7	
建設委員会	8月21日(木)			2	7	
	10月10日(金)	5		2	10	
文教委員会	8月21日(木)		4	3	11	
	10月10日(金)	4	4	3	9	
議会運営委員会	8月29日(金)			1		第3回定例会について
	9月12日(金)					
	9月25日(木)			1		
	10月17日(金)					
総合交通対策調査特別委員会	8月22日(金)			3	9	
	10月14日(火)			3	8	
子ども・子育て支援対策調査特別委員会	8月22日(金)		2	1	7	
	10月15日(水)		2	1	6	
災害・オウム対策調査特別委員会	8月25日(月)				10	
	10月16日(木)				8	
エリアデザイン調査特別委員会	8月25日(月)			1	7	
	10月16日(木)			1	7	
議会基本条例制定特別委員会	10月14日(火)					

議員研修会を行いました

足立区議会では、政務活動費の透明性と適正な運用を一層推進するため、11月6日、報道番組等でおなじみの若狭勝弁護士（元東京地検特捜部副部長）を講師に迎え、「公職選挙法違反リスクと動画制作費の取り扱い」をテーマとした議員研修会を開催しました。

研修では、若狭弁護士の豊富な実務経験を基にわかりやすく解説いただいた後に、多くの議員から質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

足立区議会は、今後も公正で透明性の高い議会運営に努めてまいります。



若狭 勝 弁護士

意見の分かれた議案（26件中7件）

その他の議案（19件）は全会一致で認定・可決・承認されました。

議 案 件 名	議 決 結 果	自 民										公 明										共 産			是 非		都ファ		改革		無派	無派	無派								
		白石正輝	吉岡茂	渡辺ひであき	かねだ正昭	鹿浜てつや	工藤太郎	伊藤のぶゆき	長沢興祐	くじら実	杉本ゆう	しばや竜一	岡田将和	小泉ひろし	たがた直昭	いいくら昭二	長井まさのり	岡安たかし	くぼた美幸	佐々木さひこ	吉田こうじ	さの智恵子	石毛かずあき	水野あゆみ	太田せいいち	ぬかが和子	はたの昭彦	山中ちえ子	横田ゆう	小林ともよ	西の原ゆま	おぐら圭平	へんみ圭二	加地まさなお	富田けんたろう	中島こういちろう	佐藤あい	川村みこと	長谷川たかこ	土屋のりこ	市川おさと
令和7年度足立区一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
令和7年度足立区介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	
令和6年度足立区一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	×	○	
令和6年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	×	○	
令和6年度足立区後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	
足立区千住大川端地区再開発地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	○	○	
足立区乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	×	○		

◆専決処分した事件の報告及び承認について（指定管理者の指定）

足立区立日光林間学園の指定管理者を指定するもの

◆審査請求の却下の報告について

審査請求人に対する足立区立図書館への入館禁止処分の期間が経過したため、入管禁止処分に係る審査請求を却下するもの

◆人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、橋本優氏、齋藤ゆきえ氏、高橋将郎氏、影山幸一郎氏を推薦することについて、区長から議会の意見を求められたもの（異議ないものと答申すること）

◆建設アスベスト被害者の全面救済を求める意見書

（令和7年10月20日に議決し、関係機関に提出しました。意見書の全文は、次のとおりです。）

建設業従事者のアスベスト被害について、令和3年5月、最高裁判所は一人親方を含む国の違法性を認めるとともに、大手建材製造企業10社の賠償責任を認めた。これを受け、同年6月に「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」が成立し、令和4年1月から給付金制度が開始された。

しかし、同法は国による給付金のみを定め、賠償責任が確定した企業の拠出は規定しておらず、企業側も裁判で争う姿勢が続いている。そのため給付額や制度内容は被害者の全面救済に十分とはいえない。

さらに、同法は最高裁判決の枠組みを踏まえて設計されたため、屋外で主に就労した被害者や国の賠償責任期間直前に現場を離れた被害者は対象外となっており、今後はそのような方も救済されるよう、補償の拡充が求められる。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、建設アスベスト被害者を一人残らず救済するため、アスベスト建材製造企業の補償基金への拠出参加に向けた環境整備を行うとともに、「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」を速やかに改正するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣あて）

◆「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める国への意見書の提出を求める陳情

◆小さな交通「グリーンスローモビリティ」の早期実現を求める陳情

◆地域住民の足を守るための陳情

◆足立区の公共交通の充実を求める陳情

◆政党機関紙も庁内取締規則を守り、許可のない勧誘・配達・集金は認めないように足立区議会として足立区に改善することを求める陳情

（日本共産党足立区議団より採択に反対の討論あり）

◆子どもの心を育てる、情操豊かな音楽の街・足立区にする請願

◆特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律の改正を求める陳情

◆建設アスベスト被害者の全面救済を求める意見書

（令和7年10月20日に議決し、関係機関に提出しました。意見書の全文は、次のとおりです。）

建設業従事者のアスベスト被害について、令和3年5月、最高裁判所は一人親方を含む国の違法性を認めるとともに、大手建材製造企業10社の賠償責任を認めた。これを受け、同年6月に「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」が成立し、令和4年1月から給付金制度が開始された。

しかし、同法は国による給付金のみを定め、賠償責任が確定した企業の拠出は規定しておらず、企業側も裁判で争う姿勢が続いている。そのため給付額や制度内容は被害者の全面救済に十分とはいえない。

さらに、同法は最高裁判決の枠組みを踏まえて設計されたため、屋外で主に就労した被害者や国の賠償責任期間直前に現場を離れた被害者は対象外となっており、今後はそのような方も救済されるよう、補償の拡充が求められる。

よって、足立区議会は国会及び政府に対し、建設アスベスト被害者を一人残らず救済するため、アスベスト建材製造企業の補償基金への拠出参加に向けた環境整備を行うとともに、「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」を速やかに改正するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。（衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、環境大臣あて）

◆「特定石綿被害建設業労働者等に対する給付金等の支給に関する法律」の改正を求める陳情

◆小さな交通「グリーンスローモビリティ」の早期実現を求める陳情

◆地域住民の足を守るための陳情

◆足立区の公共交通の充実を求める陳情

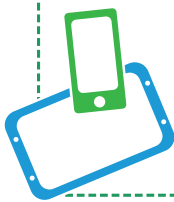
◆政党機関紙も庁内取締規則を守り、許可のない勧誘・配達・集金は認めないように足立区議会として足立区に改善することを求める陳情

（日本共産党足立区議団より採択に反対の討論あり）

◆子どもの心を育てる、情操豊かな音楽の街・足立区にする請願

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 是非…是々非々の会（維新・参政・無所属） 都フア…都民ファースト・無所属の会 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派 ※○…賛成 ×…反対 欠…欠席

決算特別委員会の の討論（要旨）



令和7年決算特別委員会の
映像は区議会ホームページ
でご覧いただけます。



※決算特別委員会の審査結果は8面に掲載しています。

足立区議会 自由民主党

討論者



くじらい 実
委員

令和6年度当初予算は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と名付け、コロナ禍の影響から日常を取り戻しつつある中で、自然災害や物価高騰等の区民生活を脅かす不安を取り除き、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちになることを目指した予算編成であった。

特に、能登半島地震を教訓として、災害備蓄の積み増しや建築物の耐震化助成の拡充等、防災・減災対策を強化しつつ、福祉まると相談課創設による包括的相談支援の開始や持続可能な公共交通の実現に向けた実証実験に着手する等、区民に寄り添い暮らしを支えることを意識した施策・事業を推進した。

扶助費の増加、公共施設維持管理費や更新費の増大、物価高騰や建設コスト増加への対応等、持続可能な財政運営を目指しつつ取り組まなければならない課題は多くある。厳しい経済・社会情勢の下で、適正な行財政運営を推進していくことを要望する。

我が党委員が指摘した、シティプロモーションによる区のイメージアップ推進、キャリアサポートの充実等による管理職を増やすための取り組み、竹の塚のまちづくり推進、決算についての区民への更なる周知徹底、減額補正理由についての議会への報告方法の検討、第三子に対するメリハリのある支援、区民事務所長への管理職配置、自転車運転ルールの区民への周知啓発、物価高騰対策、デフリンピックの機運醸成、持続可能な介護保険制度の実現、パブリックスペースの活用による公空間の充実、地域の伝統文化への継承支援、さまざま意見がある学校統廃合について地元への真摯な対応と理解を得るための努力等、様々な提案及び要望事項を尊重し、その実現に向けて努力するよう強く要望し、討論とする。

足立区議会 公明党

討論者



たがた 直昭
委員

能登半島沖で最大震度7の巨大地震が発生し、改めて災害への危機感を高める中、令和6年度の予算は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と銘打ち、自然災害や物価高騰等、全ての区民が安心を実感し、区全体が活力あるまちになることを目指した予算であった。特に災害備蓄の積み増しや、建築物耐震化促進事業の助成拡充等、自然災害に対する備えの見直しや防災・減災対策の強化等が実施された。

また、新たな挑戦として福祉まると相談課の創設による包括的な相談支援の開始や、鹿浜・入谷地域を対象に行うデマンドタクシーの実証実験による持続可能な公共交通の手段として着手する等、区民に寄り添い暮らしを支えることを意識した施策の推進が図られたことは評価するものである。更なる基金の将来への備えは今後も必要であり、誰一人取り残さない理念の下、区民に一層の安心と希望を届けられるよう、施策の充実を望む。

今回の決算特別委員会において、我が党の各委員が質問した、財政の見える化、小学校跡地の利活用、水害時における緊急車両の避難先確保、区内事業者向け支援の継続と強化、町会・自治会の更なる活性化に向けた取り組み、若者・女性の健康対策、建築入札案件の製作物の早期発注、細街路整備推進、入学準備金対象者から外れている児童・生徒への救済策、自動運転車両を活用したスマートシティ・チャレンジの取り組み、日暮里・舎人ライナーにおけるバスを活用した実証実験の取り組み、キャリア教育や包括的な性教育の取り組み、更なる子育て支援の拡充等、区民全般にわたる多くの要望や提案は、区民の切実な声と捉え、今後の予算編成を含め反映するよう強く要望し、討論とする。

日本共産党 足立区議団

討論者



山中 ちえ子
委員

一般会計決算の実質収支は127億円の黒字、実質単年度収支は55億円余の赤字、財政調整基金は490億円を超えた。当初予算と比較し、利子割・株式等譲渡所得割交付金は合計12億6千500万円余の増額、地方消費税交付金は17億円増額し、169億円余となった。令和6年度決算には格差拡大、物価高騰による消費税負担の増加、全国トップクラスの基金残高を維持し続けたこと等が表れた。物価高騰対策や区民への支援策は極めて不十分である。高齢者への配食サービスは日中独居世帯へいまだ実施せず、PayPay商品券による還元事業への上乗せだけに臨時交付金を活用し、全区民に対する施策への転換は行わない姿勢である。

大型開発や特定企業支援につながる事業には大盤振る舞いの姿勢で、北千住駅東口北街区再開発では100億円の税金投入で事業者がホテル建設を行い、旧こども家庭支援センター跡地利用では区の土地を民間デベロッパーに貸してマンションを建設する。竹ノ塚中央地区ではURのために早々に竹の塚第五公園を廃止した。

また、生徒・児童の不登校は過去最高となる中、学校統廃合で廃止にする姿勢は到底認められない。パブリックコメントの結果を真摯に受け止めることを求める。

国民健康保険特別会計は、平均保険料が前年度と比較して大幅に値上げし、子育て世代応援区分の設定による負担増が見込まれ、自営業や低所得者等への多大な影響が及ぶ中、認定するわけにはいかない。

後期高齢者医療特別会計は、本年10月から多くの高齢者の医療費窓口負担が倍に上がり、追い打ちをかける仕打ちである。

介護保険特別会計は、介護保険制度が始まって以来、基準額を値下げに踏みきったことは初めてであり認定する。

是々非々の会 （維新・参政・無所属）

討論者



富田 けんたろう
委員

令和6年度予算は区民に寄り添い、暮らしを支える姿勢が感じられる内容であった。経常収支比率は適正水準を維持、安全性を堅持しつつも機動的な運用により利回りを確保した点、高く評価する。

一方で、PayPay商品券事業や新型コロナウイルスのワクチン助成は、漫然とした予算計上に陥っていないか指摘をした。行政に対してブレーキをかけることも議会の大切な役割であり、行政需要が多様化する今こそ、既存事業の不断の見直しは避けられない。評価ツールでもある事務事業評価調査の抜本的見直しを求める。

また、ドッグランやスケートパーク等の整備は区民のウェルビーイング向上に資する取り組みだ。できない理由ではなく、どうしたらできるかを追求すべきであり、庁内横断的に連携し、課題に向き合うよう期待する。

受益者負担の適正化、後援制度の更なる充実、高齢者入浴事業を活用したフレイル・認知症予防、学校現場での外国人問題、防犯カメラのセキュリティ対策、PayPaY商品券を活用したふるさと納税、高校生応援支援金の再設計、「チョイソコ×せんじゅ」の乗り場改革、第三者承継を含む包括的な事業承継支援、共通投票所の設置や移動期日前投票所の導入、選挙妨害を未然に防ぐ取り組み、体感治安に基づく政策立案、ウェルビーイングの土台を築く教育・保育の質向上、ながら見守りの高度化、開かれた議会の更なる追求、職員のワークライフバランス確保など、現実的かつ未来志向な提案を行った。

今回の決算特別委員会において、検討・研究すると答弁のあったことについては、その進捗状況を迅速かつ丁寧に議会に報告するようお願い、討論とする。

都民ファースト・ 無所属の会

討論者



中島 こういちろう
委員

令和6年度当初予算は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」を基本理念として掲げ、能登半島地震を踏まえた自然災害への備えの見直しや、防災・減災対策の強化を図ると共に、地域の移動支援として「デマンドタクシー」の実証実験等も盛り込まれる等、生活の安全・安心を支える施策が数多く展開された。


物価上昇の影響を受ける中小企業や区民生活を守るため、「中小企業人材採用支援助成金」、「キャッシュレス決済還元事業」、「レシートde商品券事業」等、柔軟かつ実効性のある政策を適切なタイミングで実施してきたことは、高く評価する。

加えて、6回にわたる補正予算が編成され、当初予算で不足した分野への的確な追加配分が行われたことも、区の迅速な対応力を示すものである。

今後とも、より魅力ある足立区の実現を強く期待すると共に、本決算特別委員会において会派からは、分かりやすい区政財政情報の発信、学童保育室における歯磨きルールの構築、ドローン活用による防災力向上、少年消防団との地域連携強化、公園の更なる活用、アンダーパス冠水対策と情報提供の強化、部活動の地域移行の支援、グラウンドや会議室など公共施設の利便性の向上等を提案・要望した。

現代社会において直面する課題は非常に多岐にわたり、既に広く認識されている。しかしながら、それらの課題は単一の原因によるものではなく、複雑かつ多層的な要因が絡み合っており、容易には解決できないのが現実である。批判や問題点を提示するだけでなく、区職員と課題を共有し、協働して解決策を模索する姿勢こそが重要だと考え、引き続き共に前に進む視点を持つことを約束し、討論とする。

足立区議会
議会改革を全力
で推し進める会

討論者

長谷川たかこ
委員

令和6年度は「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と銘打ち、区民が安心を実感し、区全体が活力ある街になることを目指した予算編成となった。

デマンドタクシーの実証実験や、「すこやかプラザ あだち」の建設、妊娠期から子育て期の支援や不登校未然防止対策等、どの政策も未来志向型の事業であり、発展・拡充事業へと展開する必要はあるが高く評価する。

また、深刻化する不景気が格差の問題となり、子どもやお年寄り、障がいをもつ区民の生活を脅かすという面が浮き彫りとならないよう指摘する。

区長においては、子どもたちの更なる環境改善とあらゆる人々に支援が行き届く新たな支援制度の構築、首長の多選が起因とした役所内の人事が硬直化しないよう、職員に対する目配り・気配り・心配りを常に心がけ、区職員の働きやすい職場環境の提供と全職員が夢を持って取り組める職場環境を目指して努めることを強く要望する。

本委員会での質疑をまとめ、次のことを指摘する。

カラーユニバーサルデザイン、共同親権に伴う新たな支援制度、公契約条例の是正、医療的ケア児への放課後対策、有効ないじめ対策の新規事業、デマンドタクシーの是正、全ての人が安心して暮らせるみんなにやさしいまちづくり、国立・私立に通う発達障がい特性のある児童・生徒に対する公的支援の導入、働き方改革、長期休日における休日応急医療体制、幼児期における早期の気づき・発達障がい支援、不登校の中高生に対する学習支援について。

委員会での指摘に対し、今後の予算編成並びに執行、区の政策に反映されることを強く要望し、討論とする。

令和6年度
各会計決算

区 分		令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一 般 会 計	歳入総額	350,425,399,051円	332,184,568,311円	18,240,830,740円	5.49%
	歳出総額	337,699,959,563円	317,782,431,714円	19,917,527,849円	6.27%
国民健康保険特別会計	歳入総額	68,891,153,253円	70,267,338,578円	△ 1,376,185,325円	△ 1.96%
	歳出総額	68,268,827,784円	69,852,224,813円	△ 1,583,397,029円	△ 2.27%
介護保険特別会計	歳入総額	69,183,084,119円	68,218,599,026円	964,485,093円	1.41%
	歳出総額	68,186,628,714円	66,316,877,257円	1,869,751,457円	2.82%
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	19,009,885,577円	17,657,644,118円	1,352,241,459円	7.66%
	歳出総額	18,804,411,366円	17,477,366,591円	1,327,044,775円	7.59%

決算特別委員会の審査結果

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団
是非…是々非々の会（維新・参政・無所属） 都ファ…都民ファースト・無所属の会
改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派
※○…賛成 ×…反対
※（正）…委員長 （副）…副委員長

委員名 区 分	審 査 結 果	自 民				公 明				共 産		是 非	都 改 無 無	野 高	沢 橋
		白石	渡辺	かねだ	伊藤	くじら	たがた	いいら	岡 安	石毛	太田	山 中	中島	長谷川	野 沢
一 般 会 計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
国民健康保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×
介護保険特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○

決算特別委員会での審査と
本会議での議決

区長から令和6年度「一般会計」「国民健康保険特別会計」「介護保険特別会計」「後期高齢者医療特別会計」の歳入歳出決算についての議案が提出され、議会は決算特別委員会を設置し、9月29日から10月8日までの間の6日間で審査を行った。

令和6年度予算は、「命と暮らしを守りぬく。安心と活力のあだち」と銘打ち、自然災害や物価高騰等の中、全ての区民が安心して暮らすことを目指した予算とした。

また、能登半島地震を教訓として、防災・減災対策を強化しつつ、「福祉まると相談課」

創設による包括的相談支援の開始等の施策・事業を推進した。普通会計決算では、実質収支は約124億9千万円の黒字で、前年度に比べ約1千700万円の増となった。経常収支比率は79%で、前年度に比べ1.1ポイント増加したが、80%以下を維持した。

予算が適正かつ効率的に執行されたかどうか、また、施策や事業の達成度、今後の改善点等に視点を置き、各委員がそれぞれの立場で活発な質疑を展開し、慎重なる審査が尽くされた。

10月8日に質疑を終了し、各会派の討論及び無会派議員の意見表明の後、採決した。

その結果、4会計決算について、いずれも認定すべきものと決し、審査を終了した。

審査経過

審査結果

決算特別委員会の様子


はたの 昭彦
副委員長


岡安 たかし
副委員長


工藤 てつや
委員長

10月20日の本会議において、工藤てつや決算特別委員会委員長が審査結果を報告した後、採決を行い、委員会の決定のおり認定した。

本会議での議決結果

決算書類や委員会の資料はこちら

何を
しているの？

決算特別委員会とは？

決算とは、1年間で区が集めたお金（税金など）を、どんなことに使ったかをまとめたものです。
「決算特別委員会」は、区議会議員が集まって、前年度の予算が区民のためにきちんと使われたかどうかを詳しく確認する大切な機会です。

① お金の使い方を確認

○災害対策や教育、福祉サービスなどに本当に必要なお金が使われたかを確認します。

○議員は予算の無駄づかいがなかったかを調べた上で、使い方に問題がなかったかを質疑し、委員会最終日に認定・非認定の採決をします。

② 次の予算に活かす

○「ここは良かった」「ここは改善が必要」などを話し合い、来年度の予算に役立てていきます。